

Cardiology

循環器内科



府中病院のさまざまな情報をお届けします！

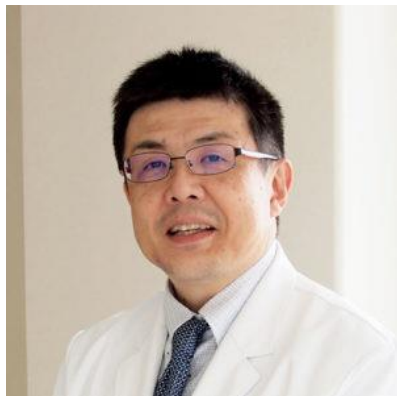
登録医の先生方用

府中病院
ホーム
ページ



地域から愛される

ハートチームを目指して



副院長 循環器内科部長 医師研修センター専門研修室長 田口 晴之 (たぐち はるゆき)

■資格

日本循環器学会循環器専門医・近畿支部評議員
日本高血圧学会認定専門医・指導医
日本心血管インターベンション治療学会認定医・
心血管カテーテル治療専門医・施設代表医
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本医師会認定産業医
難病指定医
医学博士

「断らない」をモットーに

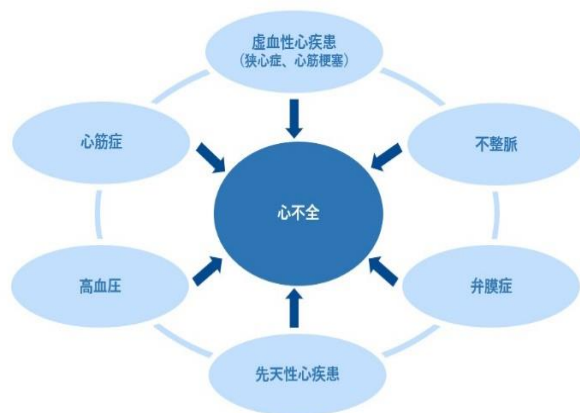
当院では「近隣の先生方のご紹介、救急搬送患者さんは断らない」をモットーに年間約5,800件の救急搬送患者（うち循環器疾患約500件）や年間約900件の近隣の先生方からの循環器疾患の紹介患者を受け入れております。

対策が急務な 心不全パニック

循環器内科領域では、私が医師になった約30年前とは比較にならないほど治療が進歩し、多岐にわたっております。それぞれの分野の発展はすさまじいものがあることは先生方もご承知のところと存じます。現在日本では、人生100年時代と言われている中で、循環器領域では心不全パニックが問題となっており、高齢化社会に伴って患者数が激増しております。

心不全の原因となる疾患を罹患することにより、最終的にはうっ血性心不全の病態になってしまい多くの方が当院へ搬送されております。

心不全の原因疾患



心不全ケアチーム

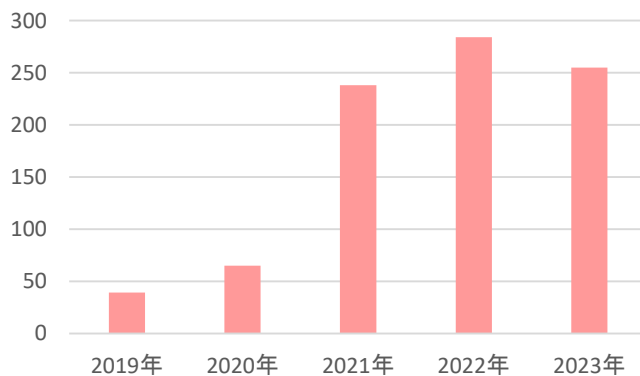
当院では、花谷彰久センター長、循環器内科 山下智子医師をはじめとして、循環器内科医師、多職種的心不全療養指導士で構成された「心不全ケアチーム」があり、心不全治療を行っております。また心不全地域連携パスを活用し、地域の先生方と連携を図りながら治療を行っております。



ハートノート活用による 再入院率の減少

ハートノートを導入し、心不全増悪の予防、患者さん自身での自己管理意識向上に取り組んでおります。それに伴い、慢性心不全患者の再入院率が減少する傾向が出てきております。ハートノートは北泉州地域（高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町、岸和田市）で多くの患者さんに使用いただいております。

ハートコール件数



はーとコールを活用ください

緊急の循環器内科疾患に早急に対応するために、はーとコールのシステムを導入しております。

はーとコールは循環器内科医師が直接連絡を受け対応します。そのため、より緊急を要する循環器疾患（急性冠症候群、大動脈解離、肺塞栓症）へ早期の対応が可能となります。

基本的にベットが空いていれば、受け入れ可能です。近年は年間250件前後と多くのコールをいただいております。

 府中病院

24時間365日対応可能
はーとコール

胸痛、心電図異常、もしかして心筋梗塞？
こんな時にお電話ください！

医師直通電話

080-2510-9826

泉大津急性期メディカルセンター開院後の循環器疾患治療

2024年12月に泉大津市立病院と府中病院は機能を再編統合し、泉大津急性期メディカルセンターとして生まれ変わる予定です。

現在は循環器内科のスタッフのみで循環器疾患の治療を行っていますが、泉大津急性期メディカルセンターでは、循環器内科に加えて心臓外科医も赴任予定であり、ハートチームが拡充します。循環器専用カテーテル室も現在の1室から3室となり、多くの緊急手術に対応できることになります。このため治療の幅が広がり、多くの患者さんにより良い医療提供ができ、ハートチームとして、より地域に貢献できるようになります。

今後も連携いただきますようよろしくお願いいたします。

2024年12月完成イメージ 泉大津急性期メディカルセンター



循環器内科

	月	火	水	木	金	土
午前	花谷 山下 田中	竹下 松本	太田剛 堂上 戎野	田口 岡田	田口 交代制 平山	—
午後	—	—	河/小林		—	—

- 予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。
- 診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませお願いいたします。

府中病院の記事をご覧ください
※ m3.comへ移行します ※ 登録が必要です



今、求められている資格！

心不全療養指導士

Certified Heart Failure Educator

心不全は、様々な心疾患が原因となって、息切れやむくみなどの症状を認める状態（病状）のことをさしますが、最大の問題点は、一度発症すると再発を繰り返し、寿命を縮めてしまうことです。そこで、心不全再発を予防するためには、原因となった心疾患に対する適切な薬物・非薬物治療を行い、病状を安定させることが基本ですが、それを維持するためには、患者さん自身の体調管理（自己管理）も非常に重要です。日々の血圧・体重測定、薬を忘れずに飲む、減塩に注意した食事、適度な運動、介護など社会支援の調整などが必要となります。そのため、心不全患者さんの指導は、医師だけではなく、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会医療福祉士、臨床心理士など様々な専門的知識を持った多職種が連携して行います。しかし、社会の高齢化により、心不全患者数は増加しており、個々の患者さんが抱えている問題も多様化したため、各職種も心不全診療全般の知識を持った上でより質の高い専門的な指導を行うことが必要となりました。

そこで、日本循環器学会は、2021年度より「心不全療養指導士」という新たな資格認定制度を開始しました。

この制度は、医療に関わる国家資格をもった者が、心不全診療に必要な基本的知識や技能を習得したことで認定されます。現在、府中病院では、看護師、管理栄養士、薬剤師の合計8名が心不全療養指導士の資格を取得し、幅広い専門知識を持ちながら、入院や外来での心不全患者指導を行っています。また、退院した心不全患者さんの生活の場は、自宅や施設などの地域になります。心不全の知識があれば、日常生活でみられたささいな体調変化に気づき、早期に適切な対応をとり、心不全悪化による入院を避けることができます。今後も高齢心不全患者さんが増加することが予測されています。病院スタッフだけではなく、訪問看護師、クリニックや施設スタッフが心不全療養指導士となり、病院と地域が連携して心不全患者さんのケアにあたることが求められています。今後ますます必要とされる資格である「心不全療養指導士」に是非チャレンジしてください。



日本循環器学会 心不全療養指導士

検索

New

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2024.3月

府中 肝疾患地域連携講演会

日時：2024年 3月 21日（木） 18：00～19：20

場所：府中病院 アイセンター（3階）

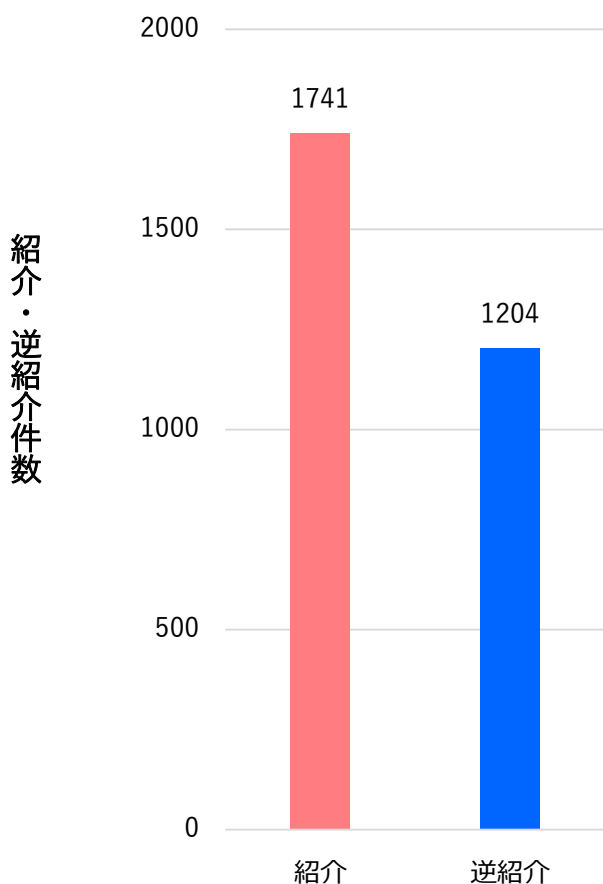
※ 会場開催・事前申込制

お申し込みは地域医療連携室 0725-40-2147 までご連絡ください

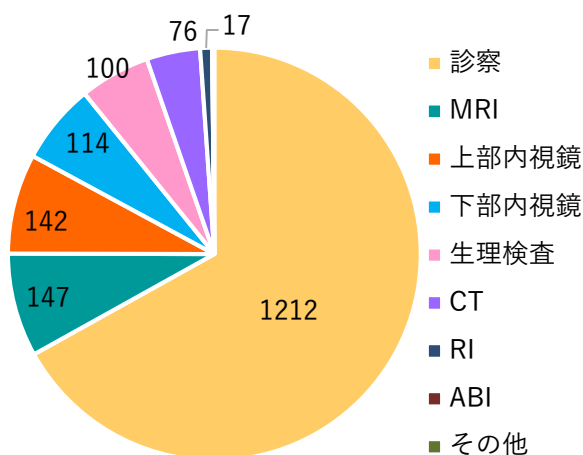
紹介実績 〈2024年2月〉



にこまる



紹介実績件数



ねっとわーく Vol.245

発行責任者：院長 竹内 一浩
編集責任者：患者支援・地域連携部 家口 尚
編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子
〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号
TEL：0725-40-2147 FAX：0725-40-2148
予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147
E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現
地域と職員と共に栄えるチーム
Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
チャレンジします。
3つのベストにチャレンジします。